

天然資源に乏しい日本で世界にくらべて、これだけは恵まれているものに温泉があります。

我が国の温泉の数は、1,130ヶ所と言われ、昼、夜の別なく噴き出す湯量は3,643億リットルと言われています。

最近温泉は遊興の場と化してしまい費用も高くなり、湯治客が安心してのんびり湯につかる素朴な温泉地がだんだん影をひそめて来る時、真の療養泉として秋元温泉は一般大衆の皆様と共にありたいと思っております。

○ 由来

当温泉の創業は、当家に伝わる古い記録並びに、古老の言いつたえによりますと、随分昔の事で、今から約400年前当時津軽藩で、藩の重要財源の一つとして尾太と共に開発した銀山を採掘せし時の発見によるものと記されています。

このあたりは、天正十四年藩祖津軽為信公によって険阻な矢立峠を切開いてつくられた羽州街道に近く、寛文二年から江戸参勤の公道として利用され、碓ヶ関御番所などもあり人馬の往来も多かったものと思われます。南部藩の相馬大作為津軽藩主を狙撃したと言われている場所も近くにあり、この街道は現在矢立遊歩道（歴史の道）として整備されています。当時は有馬の湯より効験いちぢるしい所から、矢立の名湯として知られ遠近各地より浴客の繁栄を見たがあります。

大正10年頃建築中の土中より往時をしのばせる薬師如来と刻まれた、寛文年間の石碑が発掘され、現在薬師堂にまつられています。

当家の祖先は番所に勤め附近の山林を手当として頂き代々温泉を営んで参りましたが、明治維新後の廃藩・文明開化と共に

に新国道の開通又銀山の廃鉱などの種々悪条件によりやむ無く温泉を一時閉鎖しておりましたが、再び大正初年開湯して秋元温泉として生まれかわりました。

○ 温泉特徴及質泉（酸性硫黄泉）

三日一廻りの霊泉として、古来より有名でしたが、体内への透過力が強く薬分が体内に吸収され、入浴後数分で全身が温たまり浴後湯ざめする事無く心身共にさわやかです。其の上わずか十日たらずの入浴期間で充分諸病に素晴らしい効力がある熱の湯です。

昭和7年宮内省待医西川博士により、本邦でも稀な特殊薬泉として其の入浴法など種々指導を受けて以来、湯の沢の天然の薬湯として、秋元温泉は広く人々に知られるようになりました。

其の後温泉界の権威者である藤浪博士による東北地方の温泉調査のあった時、当温泉が東北第一線の直筆の看板を頂き、更に、昭和25年北大分析化学班の調査の結果薬分の含有量並びに、種類の多い事全国一と折紙をつけられたものです。

湯の沢も其の後2、3温泉も出来ましたが、各温泉ともそれぞれに全く違った泉質です。酸性の硫黄泉は当温泉のみです。

- 効能 神経痛・慢性関節リウマチ・筋肉リウマチ・冷症・胃腸・創傷・切傷・婦人病一般・小児マヒ・尿失禁症・ジンマシン・打身・痔疾・風邪引きやすい人・骨折の予後・その他
- 禁忌症 高度の動脈硬化症・肉腫等悪性腫瘍・心臓・脚気・肺結核

諸設備の概要並びに料金

- 旅館部（各室テレビ有）
37名まで泊り11日8500円
1泊2食付^{7500円}～8,800円（税込）
昼食は定食・ラーメン・ソバ・丼物等をご利用下さい。
- 冬期間暖房費別料金 1室1名様の場合1日1,000円、
2名様の場合500円、3名様以上1日350円
- 自炊部
1日湯治料金2,800円～3,000円（消費税別）
貸夜具1枚250円、枕1コ30円、敷布80円、塵布団50円、
丹前500円、その他自炊部でも御希望の方には1食200円、
御飯だけでも出しておりますし、又1日2食で2,500円の
定食もごさいます。
- 売店 食料品・土産品・日用品・その他不自由の無い
ように取揃えております。
- 風呂場 一般浴場 1
男子専用浴場 1
婦人専用浴場 1
- 広間 1
- カラオケホール 1
- 交通 青森駅より奥羽本線直通にて約1時間40分位、碓ヶ関駅
にて下車致します。秋元温泉専用のサービスカーがお待ち
申上げております。約15分位にて温泉に到着します。
このサービスカーは午前8時～午後5時頃迄に着の普通
列車のみに出ますので御注意下さい。以前利用して
おりました津軽湯の沢駅は昭和46年10月より無人駅になり
ましたので御間遠の無いよう碓ヶ関駅に下車して下さい。
- 日帰り湯治（休憩室利用）も出来ます。